

	教科における課題 (□)	身に付けさせたい力 (・)	課題を解決するための取組(○) 授業改善策(☆)
国語	<input type="checkbox"/> 漢字の定着 <input type="checkbox"/> 語彙を増やし、文章表現力やコミュニケーション能力を身に付ける	・漢字を日常で読み書きする力 ・語彙力 ・文章表現力 ・コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ○新出漢字は、ドリルで練習→家庭学習で習熟→確認テストのサイクルで習熟を図る。 ☆継続的に練習、テストを行う。 ○読書の習慣化を図る。 ☆おすすめの本を紹介する活動を取り入れる。 ○辞書を活用する。 ☆すぐに辞書を使える環境にしておく。(教室に常設しておく。) ○文章で表現する機会を増やす。 ☆学級学習の時間(月に2・3回程度)に短作分タイムを設け、テーマに沿った自分の考えや感じたことを書く。 ☆思ったことや考えたことなどを文章で表現させる機会を多く設ける。 ○朝の会などでスピーチを行う。 ☆話合い活動や発表活動を設定し、伝え合う力の育成を図る。 ☆授業の中で、ペアやグループなどで話す・聞く活動を取り入れる。
社会	<input type="checkbox"/> 課題に対する問題意識や興味を高める。 <input type="checkbox"/> 資料活用	・関心・意欲 ・情報を読み取る力 ・まとめる力	<ul style="list-style-type: none"> ○写真資料の活用や調査活動を取り入れる。 ☆児童が課題に興味をもてるよう、導入、資料の内容、提示の仕方を工夫する。 ☆資料の読み取りを行い、写真やグラフ、地図から情報を読み取る練習をさせる。 ○調べ学習の際、予想や自分の考えを含めまとめていくことを繰り返す。 ☆考えたことを話し合ったり、文章表現したりする時間を設ける。
算数	<input type="checkbox"/> 計算力 <input type="checkbox"/> 学習意欲の向上と持続 <input type="checkbox"/> 言葉で表現する力の向上	・小数の乗法、除法分数の加法、減法を正しく行う力 ・自力、話し合いで課題を解決する力 ・間違いから学ぼうとする態度や粘り強さ ・はっきり、分かりやすく説明する力	<ul style="list-style-type: none"> ○計算方法の理解 ☆小数点の移動の意味(10倍 100倍、1/10 1/100)、通分の意味(最小公倍数)の理解を確実にする。 ☆小数の乗法、除法の計算力を付けるために、ドリルやプリントを繰り返し取り組ませる。 ○考える時間、話合いの設定 ☆単位量あたりの大きさの単元などで、具体的な図や、線分図をかいて考えることを定着させる。 ☆線分図により求める方法を定着させる。 ○考え方をノートにまとめてから発表させ、話し合うことで算数的な考えを養う。
理科	<input type="checkbox"/> 学習意欲の向上 <input type="checkbox"/> 自然科学に対する興味の向上 <input type="checkbox"/> 科学的思考力の育成 <input type="checkbox"/> 発表への意欲や工夫	・能動的な学習態度 ・観察結果を記録していく力 ・思考の言語化 ・観察する力 ・考察する力 ・発表する力	<ul style="list-style-type: none"> ○小ユニット化授業を適宜取り入れる。 ☆基礎的な用語定着のための演習の実施。 ○課題を具体的に表記させ、理解を深める。 ☆ノートのとり方の指導を行う ○思考を言語化する場面を隨時設定する。 ☆実生活とのつながりを想起させる場面を多く取り入れる。 ☆丁寧に記述する時間を確保する。 ○自ら観察し記録したことを基に考察する。 ☆他者の考察とのすり合わせの時間を確保する。 ○発表し合う場面を多く設定する
図工	<input type="checkbox"/> 造形的な能力の育成	・材料や場所などの特徴をもとに発想、表現する力 ・既習の経験や技能を生	<ul style="list-style-type: none"> ○材料や場所を様々な角度から捉える時間の設定。 ○多彩な材料を用いることで、自らの思いを効果的に表現する作品作りを行わせる。 ☆机間指導の際の言葉掛けやアドバイスを工夫する。 ○様々な技法を生かして表現できるような内容を設定する。

	□鑑賞する力の育成	かして表現する力 ・他者の創作に共感する力 ・身近な作品や美術作品を鑑賞する力	☆版画、パス、絵の具、墨、カラーペンなどの多様な道具、様々な材料を、表したいことに合わせて使えるようにする。 ☆自分の作品と比べながら、工夫を見付ける時間を毎単元設定する。 ○身近な作品や美術作品を鑑賞する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。 ☆単元の最後に必ず作品鑑賞の時間を設定する。 ☆単元の中で美術作品の表現方法やアイディアを紹介する。
音楽	□声を合わせて歌う	・自然で無理のない、響きのある声で歌う力 ・聴く力、聞き合う力	○多声部の曲を、友達と声を合わせて歌うことの喜びを味わい、歌唱活動に意欲的に取り組めるようにする。 ☆自信をもって正しい音程で歌うことができるよう、簡単な曲で声を合わせる活動を取り入れる。 ☆短く区切って、スマールステップで目標をもたせながら進める。
家庭	□家庭生活を送る上で必要な基礎的・基本的な力の育成	・被服・食物・住まいなどの、基本的な知識と技能の向上	○実践的・体験的な活動を多く取り入れる。 ☆活動の中で、当該学年で身に付けるべき知識と技能を確実に身に付けられるよう個別指導を重点的に行う。
体育	□課題の解決に向けて互いに関わり合い、学び合う力を伸ばす。 □めあて学習を充実させる。 □基本的な運動能力の向上。	・学び合う力 ・めあてを立て、見通しをもって取り組む力 ・基礎体力	○児童が教え合い、学び合いながら学習を進められるようする。 ☆ペアやトリオでの学習形態を意図的に取り入れていく。 ☆チームやグループでの関わりをもてるように指導過程を工夫する。 ○学習カードや資料の充実を図る。 ☆学習カードに毎時間のめあてを書き、授業後に振り返りを行う。 ☆めあての達成に向けて、どのような手段があるのかを考えられるように学習資料を与えたり、適切な言葉掛けをしたりする。 ○様々な運動に取り組ませる。 ☆授業の中で様々な運動をする時間を設定する。 ☆体力向上月間にめあてをもって取り組ませ、体力向上を図る。
外国語	□実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識・技能の育成	・聞くこと ・話すこと(やり取り)	○指導者がゆっくりはっきりと話すことによって、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようする。 ☆イラストや写真、動画などを用いて表現と結びつけることで理解を深める。 ○簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合う。 ☆日常生活に関する身近で簡単な事柄について取り上げ、自分の考え方や気持ちなどを伝え合う必然性のある活動となるようにする。